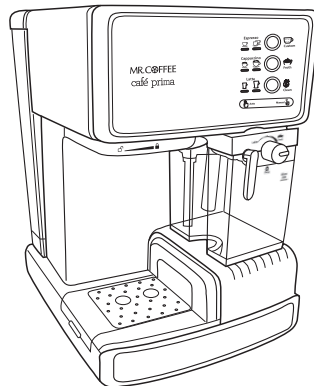
MR.COFFEE
café prima

家庭用

カフェ・プリマ <エスプレッソ、カプチーノ、ラテメーカー>

取扱説明書〈保証書付〉

型式：BVMCEM6601J

●このたびは、MR.COFFEE カフェ・プリマ<エスプレッソ・カプチーノ・ラテメーカー>をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。
●この「取扱説明書<保証書付>」は、カフェ・プリマの取扱い方法および保証等について説明しています。
●正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、手元に保管してご活用ください。

目　次

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

■安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
●表示と意味は次のようになっています。

	警 告： この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意： この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ずすること）を示します。

警 告

電源コードやプラグについて

次のことを必ず守る（火災や感電の原因になります）

●定格15A以上のコンセントを専用で使う。
●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、乾拭きする。
●電源コンセントは交流100Vを使用する。
●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜く。
●電源プラグはコンセント根元までしっかりと差し込む。
●使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。

次のことはしない（火災や感電の原因になります）

●延長コードを絶対に使用しない。
●コンセントの差込口がゆるいときには使用しない。
●電源プラグやコードが傷んでいるときは使用しない。
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せたり、高温部に近づけない
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作しない。

警 告

使用について

次のことを必ず守る

●フィルターホルダーやミルクチューブから出るお湯や蒸気に注意する。（やけどの原因になります。）

次のことはしない

●使用中や使用直後はフィルターなど高温部分に手を触れない。（やけどの原因になります。）
●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。（やけど・感電・ケガの原因になります。）
●取り外し可能な部品以外を水につけたり、水をかけたりしない。（感電・ショートの危険があります。）
●Mr.Coffeeの純正部品以外は使用しない。（感電やけがの原因になります。）
●運転中に給水タンク、ミルクポット、フィルターホルダーを取り外さない。（やけどの原因になります。）
●他の用途で使用したり、屋外で使用したり、業務用に使用しない。（けがややけどの原因になります。）

異常・故障について（火災や感電の原因になります）

●絶対に分解したり、修理・改造はしない。

●製品の異常時や故障のときは、電源プラグを抜き、販売店へ連絡する。

注 意

使用について

次のことを必ず守る

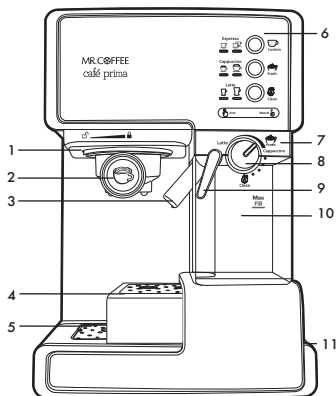
●部品の取り付けや取り外し及びお手入れするときは、スイッチを切り電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。（けがややけどの原因になります。）
●給水タンクやミルクポットは本体の所定の位置にしっかりと固定する。MAX線以上は水やミルクを入れない。（やけどの原因になります。）

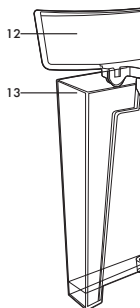
次のことはしない

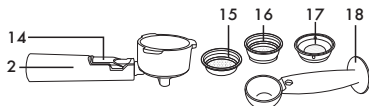
●レンジ、オーブン、バーナーなど高熱を発するものの近くに置かない。（火災の原因になります。）
●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。（火災やけがの原因になります。）
●運転中に本体を移動しない。（けがややけどの原因になります。）
●給水タンクにお湯を入れない。（吹きこぼれによるやけどや容器割れによるけがの原因になります。）
●壁や家具の近くで使用しない。（蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。）
●本体に水をこぼさない。（ショート・感電の原因になります。）

●この商品を他の人に譲渡するときは、新しく所有者となる人が安全な正しい使い方を理解するために、この「取扱説明書」を商品本体の目立つところに必ず貼付してください。

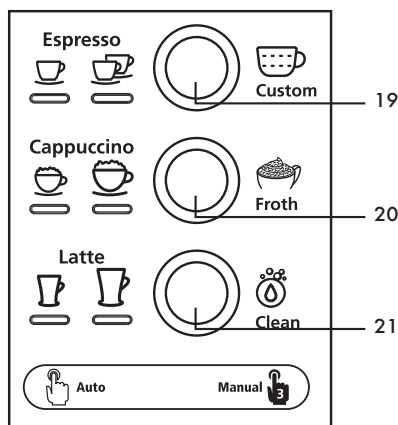
■各部の名称とはたらき

1　給湯口
熱湯が噴き出ます。
2　フィルターホルダー
フィルターを取り付け、給湯口に取り付けます。
3　ミルクチューブ
スチームミルクやフォームミルクを噴出します。
4　高さ補助トレー
背の低いカップを利用する際に引き出して使用します。
5　ドリップトレー
液垂れが溜まります。

6　操作パネル
5ページのイラストを参照してください。
7　ミルクポットふた
8　フロッサー調整ダイヤル
牛乳の泡の立ち具合を調整します。
9　ミルク・チューブ・レバー
ミルクチューブの向きを変える際に使用します。
10　ミルクポット
牛乳を入れます。
取り外し方：手前にスライドさせ引き出します。
取り付け方：本体手前から奥まで強めに押し込みます。

12　給水タンクふた
13　給水タンク
熱湯の抽出、スチームの噴出、クリーンサイクルで中の水を使用します。
取り外し方：両手で持ち、上にスライドさせます。
取り付け方：両手で持ち、本体背面に押し当てて下にスライドさせ、ロックされていることを確認します。

11　スイッチ
電源の入切をします。
○：OFF、　－：ON

15　16　17　18
14
2

14　フィルター抑え
フィルターのコーヒー粉を捨てる際に、引き出して指で抑えながら使用します。
15　シングルショット用フィルター
シングル分のコーヒー粉用です。
16　ダブルショット用フィルター
ダブルのコーヒー粉用です。
17　カフェポッド用フィルター
カフェポッド専用のフィルターです。
18　計量スプーン
すり切り1杯でシングル1杯用です。粉を平らにしたり、プレスする際にも使用します。

フィルターの取付方法

（1）フィルターホルダーの凹部分にフィルター外側の2つの凸部分を左記①②の順で差し込み合わせます。
（2）フィルターを左右どちらかに回転させて、フィルターホルダーから外れないようロックさせます。

6　操作パネル

19　エスプレッソ / カスタムボタン
エスプレッソを抽出する際に押します。
20　カプチーノ / フロッサーボタン
カプチーノを作る場合やフォームミルクを噴出する際に押します。
21　ラテ / クリーンボタン
ラテを作る場合やクリーニングを行う際に押します。

■製品について

カフェ・プリマは、エスプレッソ、カプチーノ、ラテを素早く、便利に、ボタンを押すだけで自動的に作る製品です。カフェポッドでもコーヒー粉でも抽出が可能です。

●エスプレッソ

細かく挽かれたコーヒー粉を金属フィルターに収め、高い気圧で約90℃のお湯を約20秒間抽出したものです。特にヨーロッパでは人気があり、通常のドリップコーヒーよりもかなり濃厚な味わいとなっています。

●カプチーノ

エスプレッソにスチームミルク（蒸気で温められたミルク）とフォームミルク（蒸気で泡立てられたミルク）を加えた飲み物です。

●ラテ

エスプレッソにスチームミルクをたっぷり加えた飲み物です。

■使用上のご注意

・使用直後はフィルターホルダーの金属部分がかなり熱くなります。フィルターホルダーの熱が冷めてから取り外してください。また、フィルターの上にお湯が残っている場合もありますので、取り外す際はこぼれないようにご注意ください。フィルターホルダーはハンドル部分を持ち、使用後のコーヒーはフィルター抑えを使って捨ててください。

・コーヒーがドリップされない場合は、給湯口またはフィルターの詰まりが考えられます。電源を切り、本体を冷ましてから、給湯口やフィルターのコーヒーを取り除いてください。詰まりの原因は、コーヒーが細かすぎるためかもしれません。トラブルシューティングの「コーヒーが出てこない」を参照してください。

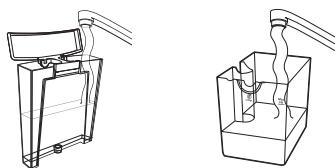
・カプチーノやラテをご使用のたびにミルク・チューブのお手入れを行ってください。

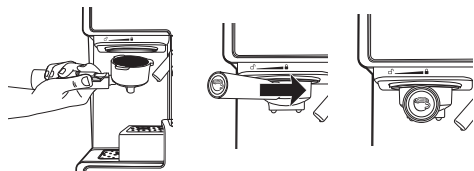
■初めてお使いになる前に

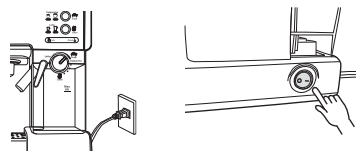
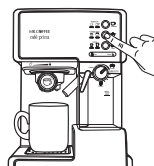
●カフェ・プリマを初めて使用する前に下記の手順でクリーニングを必ず行ってください。

1 本体からテープ類をはがしてください。

2 給水タンク、ミルクポット、フィルターホルダー、3種類のフィルター、計量スプーンを取り外し、中性洗剤を水で薄めたもので洗い、水できれいに洗い流してください。

3 ・給水タンクのふたを開け、MAX線まで水を入れ、再度本体に取り付けてください。
・ミルクポットのふたを開け、MAX FILL線まで水を入れ、再度本体に取り付けてください。

4 いずれかのフィルターをフィルターホルダーにセットしてください。
※フィルターの取付方法は4ページ■各部の名称とはたらきの「フィルターの取付方法」を参照してください。

5 フィルターホルダーを本体にセットします。
(1) フィルターホルダーのハンドルを🔓マークに合わせ、給湯口の下から当て上に押し上げ、フィルターホルダーを給湯口の溝に差し込んでください。
(2) フィルターホルダーを上に押し上げたまま、フィルターホルダーのハンドルを🔒マークの位置までゆっくりと右方向に回転させてください。

6 空のマグカップをドリップトレーの上に置いてください。ミルク・チューブ・レバーを調整して、ミルク・チューブの先をカップの中に向けてください。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチの（—）部分を押してください。
コントロールパネルの3つのランプが点滅します。

8 ランプの点滅が点灯に変わったら、エスプレッソ/カスタムボタンを3秒間押してから放してください。
（通常はエスプレッソ/カスタムボタンのランプが他の2つのランプよりも先に点灯に変わります。）

ポンプの運転が始まり約50秒間、フィルターホルダー下から熱湯が出ます。
注意：フィルター・ホルダーには手を触れないようにしてください。

9 お湯の噴出が止まったら、カプチーノ/フロッサーボタンを3秒間押してから放してください。

ポンプの運転が始まり約70秒間、ミルク・チューブからお湯と蒸気が出ます。
注意：蒸気に手などを当てないようやけどにご注意ください。

10 コントロールパネルの3つのランプが点灯に変わります。

以上でご使用前の準備は完了です。

■コーヒーについて

1　コーヒー

コーヒーは、濃い豆の挽きたてのものを使用してください。挽いたコーヒーは密封容器で涼しい場所で保管しても、7～ 8日でその香りが失われていきますので、ご使用直前に豆を挽いていただくことをおすすめいたします。豆の状態で密封容器に保存することで、約４週間ほどその香りを保つことができます。

また、エスプレッソ用の豆を１杯分の量にプレスパックされたカフェポッド（44mm）をご利用いただきますと、お手軽にエスプレッソを作ることができ便利です。

2　豆の挽き方

エスプレッソは、豆を細かくすることが大切です。以下を参考に豆を挽いてください。

（1）但し、あまり細かくしすぎると、お湯がコーヒーに均等に行き渡りません。コーヒーが粉のような大きさで、指ですりあわせると、小麦粉のように感じる場合は、コーヒーが細かすぎます。

（2）また、コーヒーが大きすぎると、お湯が早く通過して、濃厚な風味をかもし出すことができません。グラインダーは質の良いものを使用してください。おいしいエスプレッソを作るには、円錐形のものの使用をすすめします。

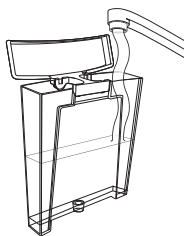
3　抽出量の目安

種　　類		抽出量（目安）
エスプレッソ	シングル	約40ml
	ダブル	約70ml
カプチーノ	シングル	約200ml
	ダブル	約300ml
ラテ	シングル	約350ml
	ダブル	約450ml

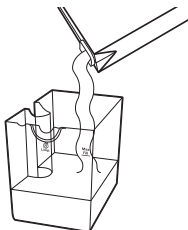
注：出来上がりの量については、使用するミルクの種類や温度、フロッサー調整ダイヤルの設定によって大きく異なることがあります。

■使用方法

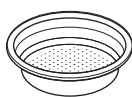
1　給水タンクに水を入れる

給水タンクを取り外してください。ふたを開け飲料水を入れてから再度本体に取り付けてください。

※MAX 線以上は入れないでください。
※お湯やぬるま湯は入れないでください。

2　ミルクポットに牛乳を入れる

カプチーノやラテを作る場合は、ミルクポットに牛乳を入れます。ミルクポットを本体から引き出してください。ふたを開けて必要な量の牛乳を入れ、再度本体に取り付けてください。

※MAX FILL 線以上は入れないでください。
※加工乳や低脂肪乳、冷えていない牛乳や一度温めた牛乳は泡立ちが悪くなります。成分無調整の牛乳が適しています。

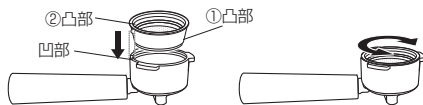
3　フィルターを選択する

シングルショット用フィルター、ダブルショット用フィルター、カフェポッド用フィルターのいずれかを選択してください。

シングル用

ダブル用

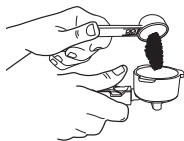
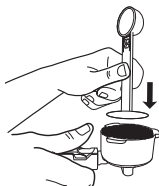
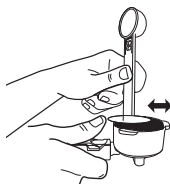
カフェポッド用

4　フィルターの装着

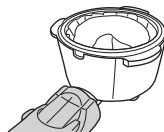
（1）フィルターホルダーの凹部分にフィルター外側の 2 つの凸部分を下記の①②の順で差し込み合わせます。
（2）フィルターを左右どちらかに回転させて、フィルターホルダーから外れないようロックさせます。

■使用方法

5 コーヒー粉を使う場合

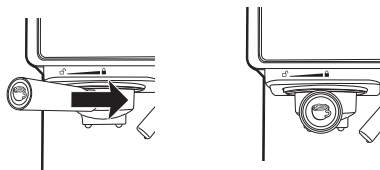
コーヒー粉をフィルターに詰める（シングルまたはダブルショット用フィルター）

（1）付属の計量スプーンを使ってフィルターにコーヒー粉を詰めます。シングルショット用フィルターは計量スプーン擦り切り 1 杯、ダブルショット用フィルターは計量スプーン擦り切り 2 杯分です。

（2）計量スプーンの反対側の平らな部分を使ってフィルター内のコーヒーを押し付けて平らにしてください。フィルターの上端から約 3mm 下の高さにコーヒーの上端がくるようにしてください。

（3）フィルターの端などにはみ出たコーヒーを取り除いてください。そのままにしておきますと、フィルターホルダーを本体にしっかりと差し込むことができなくなったり、水漏れの原因になります。

カフェポッドを使う場合

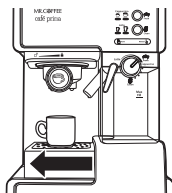
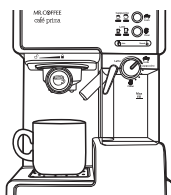
カフェポッドをフィルターに載せる（カフェポッド用フィルター）

カフェポッドをフィルターの上に平らになるように載せてください。

6 フィルターホルダーを本体に装着する

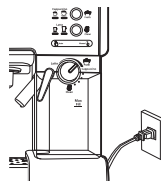
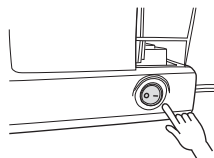
（1）フィルターホルダーのハンドルを マークに合わせ、給湯口の下から当て上に押し上げ、フィルターホルダーを給湯口の溝に差し込んでください。

（2）フィルターホルダーを上に押し上げたまま、フィルターホルダーのハンドルを マークの位置までゆっくりと右方向に回転させてください。

■使用方法

7　カップを置く

（1）デミタスカップなど小さいカップを使用する場合は、高さ補助トレーを引き出してください。

（2）大きめのカップを使用する場合は、高さ補助トレーは収納したままカップを置いてください。

（3）カプチーノやラテを作る場合は、ミルクチューブがカップの中に向くようにミルク・チューブ・レバーを調整してください。

8　電源を入れる

（1）電源プラグをコンセントに差し込んでください。

（2）スイッチの（—）部分を押してください。

コントロールパネルの 3 つのランプが点滅します。ヒーターの温度が適温になり、ランプの点滅が点灯に変わったら、準備完了です。通常はカプチーノ（Cappuccino）やラテ（Latte）のランプよりもエスプレッソ（Espresso）のランプが先に点灯に変わります。

注：・エスプレッソ（Espresso）のランプだけしか点滅しない場合は、ミルクポットが本体にしっかりと奥まで押し込まれていません。ミルクポットを強めに押し込んでください。
・15 分間使用しないと、自動的にスリープモード（ヒーターへの通電がストップ）に入ります。スリープモードに入った場合は、いずれかのボタンを 1 回押してください。

■使用方法

9　ドリップする

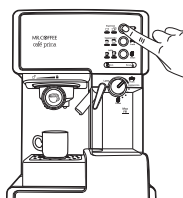
●エスプレッソの作り方

（1）エスプレッソ / カスタムボタンを押してください。

・シングルショット用フィルター　または
カフェポッド用フィルター
1 回押す（ が点灯）

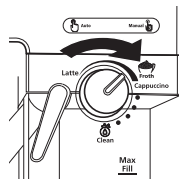
・ダブルショット用フィルター
2 回押す（ が点灯）

・カスタムモード　3 秒間押す
（ ／ は消灯）

最大約100ml までお好みの量を抽出することができます。但し、抽出量が多くなるほどエスプレッソは薄くなります。

※カスタムモードで連続運転する場合は、2 分以上運転間隔をあけてから行ってください。

（2）ランプが点滅し、自動で抽出が開始し終了します。
抽出が終了したら、ランプが点灯に変わり、ドリップが完了したことをお知らせします。
カスタムモードを選択した場合は、ご希望の量になったときに、エスプレッソ / カスタムボタンをもう 1 度押して抽出を終了してください。カスタムモードの抽出は最大約100ml で自動的に止まります。

●カプチーノの作り方

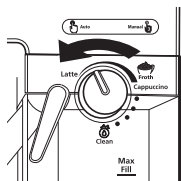
（1）フロッサー調整ダイヤルを Cappuccino の位置まで右に回してください。フォームミルクの量を少なめにしたい場合は、ダイヤルを左に回すと、フォームミルクの量が少なくなります。

フロッサー調整ダイヤルを Latte の位置にしてもフォームミルクが多少含まれます。

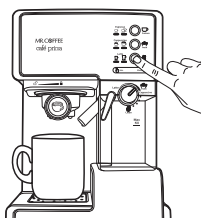
（2）カプチーノ / フロッサーボタンを押してください。

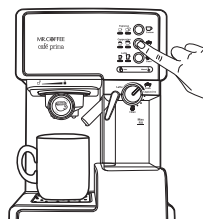
・シングルショット用フィルター　または
カフェポッド用フィルター
1 回押す（ が点灯）

・ダブルショットフィルター
2 回押す（ が点灯）

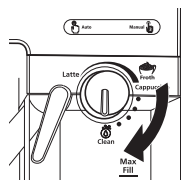
●ラテの作り方

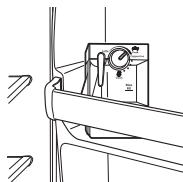
（1）フロッサー調整ダイヤルを Latte の位置まで左に回してください。フォームミルクの量を多めにしたい場合は、ダイヤルを右に回すと、フォームミルクの量が多くなります。

フロッサー調整ダイヤルを Latte の位置にしてもフォームミルクが多少含まれます。

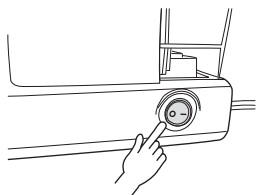
（2）ラテ / クリーンボタンを押してください。
・シングルショット用フィルター　または
　カフェポッド用フィルター
　　1 回押す（ が点灯）
・ダブルショット用フィルター
　　2 回押す（ が点灯）

10　フォームミルクを追加する

本製品は、フォームミルクを追加したり、フォームミルクのみを作ることもできます。カップをドリップトレーの上に置き、ミルクチューブがカップの中を向くようにミルク・チューブ・レバーを調整してください。カプチーノ / フロッサーボタンを 3 秒間押すと、フォームミルクが追加されます。必要な量が放出されたら、カプチーノ / フロッサーボタンをもう一度押して運転を止めてください。フォームミルクは、マッキアート、ホットチョコレート、チャイ・ラテなどによく合います。

11　ミルクチューブのお手入れ

カプチーノまたはラテを作った場合は、ご使用のたびに、ミルクチューブのお手入れをしてください。

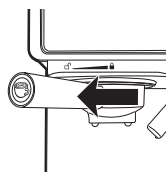
（1）ドリップトレーに空のカップを置き、ミルクチューブがカップの中を向くようにミルク・チューブ・レバーを調整してください。
（2）フロッサー調整ダイヤルを右いっぱいに回して Clean の位置にし、ラテ / クリーンボタンを 3 秒間押してください。30 秒間のクリーンサイクルに入ります。終了したら、カップの中身を捨ててください。

■使用方法

(3) ミルクチューブのクリーニングが終了したら、残った牛乳を入れたままミルクポットごと冷蔵庫にしまうか、処分してください。

12　電源スイッチを OFF にする

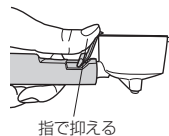
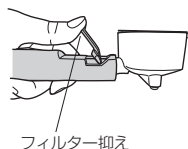
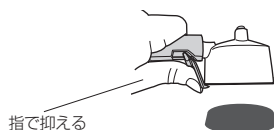
スイッチの(○) 側を押して OFF にしてください。

13　フィルターホルダーを取り外す

注：給湯中は絶対に外さないでください。また、給湯直後はフィルター部分が高温になっていますので、熱が冷めてから取り外してください。やけどの恐れがあります。

(1) 抽出終了後も、フィルターホルダーからコーヒーが液垂れしますので、お湯受けのカップなどをドリップトレーの上に置くか、高さ補助トレーを収納してドリップトレーでお湯を受けてください。

(2) フィルターホルダーのハンドルを持ち、🔓マークの位置までゆっくりと回転させます。

(3) フィルターホルダーを下に下げて外してください。
フィルター内にお湯が残っている場合がありますので、こぼさないようにご注意ください。

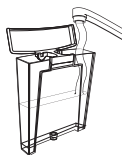
14　コーヒー粉(カフェポッド)を捨てる

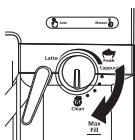
(1) フィルター抑えを起こしてフィルターを抑えてください。

(2) フィルター抑えを抑えながら、裏返してコーヒー粉(カフェポッド)を捨ててください。

■お手入れの方法

●お手入れは、各部が完全に冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

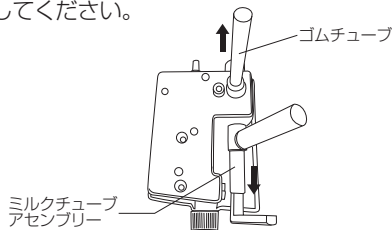
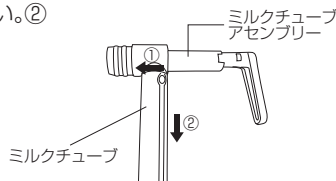
●ミルクポット、ミルクチューブ、
　ミルクポットふたのお手入れ

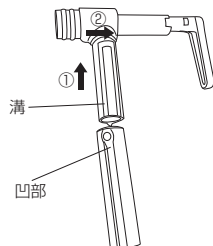
ミルクポットを使用した後は下記の手順でお手入れしてください。お手入れをしないと、固まって目詰まりします。

1 給水タンクに水を入れて本体に装着してください。

2 ドリップトレーの上に大きめのカップを置いて、ミルクチューブをカップの中に向けてください。

3 フロッサー調整ダイヤルをクリーンの位置 Clean に合わせてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチの(－)部分を押してください。ラテ/クリーンボタンの点滅が点灯に変わったら、ラテ/クリーンボタンを3秒間押してください。クリーンサイクルが30秒間起動します。終了したら、カップ内に溜まったお湯は捨ててください。

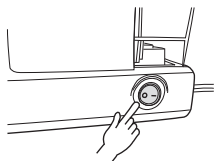
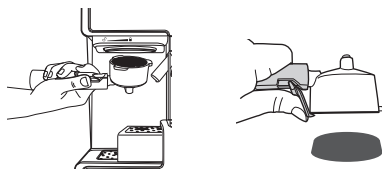
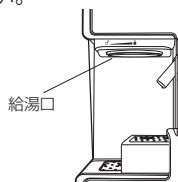
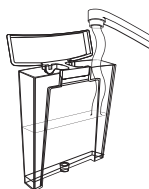
5 ミルクポットは中性洗剤をつけてぬるま湯できれいに洗った後、水で洗い流してください。食器洗機の上段に置いて洗うこともできます。

6 ミルクポットふたをミルクポットから取り外し、ミルクチューブアセンブリーとゴムチューブを矢印の方向にそれぞれ引っ張って取り外してください。

7 ミルクチューブを左に回し①、ミルクチューブアセンブリーから真っ直ぐに引き抜いてください。②

8 ゴムチューブ、ミルクチューブ、ミルクチューブアセンブリーはぬるま湯できれいに洗ってください。

9 ゴムチューブはミルクチューブアセンブリーにしっかりと差し込んでください。
ミルクチューブの凹部をミルクチューブアセンブリーの溝に合わせて奥まで差し込み①、右に回してしっかりとロックしてください。②

10 ミルクチューブアセンブリーをミルクポットふたに元のようにしっかりと奥まで差し込んでください。

■お手入れの方法

●給湯口、フィルターホルダー、フィルターのお手入れ

1 スイッチの（○）部分を押して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 フィルターホルダーを取り外して使用済の粉を捨ててください。フィルターホルダーとフィルターは、ぬるま湯できれいに洗ってください。フィルターホルダーとフィルターは食器洗機で洗うことはできません。

3 湿らせた布やペーパータオルで給湯口を拭いて、表面についた残りかすを取り除いてください。
使用直後は金属部分が大変熱くなっています。熱が冷めるまでは金属部分には触れないでください。

4 フィルターホルダーを本体にセットし（フィルターは入れない）、給水タンクに水を入れて、本体にセットしてください。

5 ドリップトレーの上に大きめの空のカップを置いてください。
電源プラグをコンセントに差込み、スイッチの（－）部分を押してください。

6 エスプレッソボタンを長押しして、自動で止まるまで、水のみの運転をしてください。

7 サイクル終了後、フィルターホルダーを取り外し、完全に乾燥させてください。

●給水タンクのお手入れ

ご使用のたびに給水タンクは空にしてください。

1 給水タンクを本体から取り外し、中の水を全て捨ててください。

2 給水タンクに中性洗剤をつけて洗い、きれいに洗い流してください。給水タンクを食器洗機で洗うことはできません。

●本体のお手入れ

1 スイッチの（○）部分を押して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ドリップトレーは取り外して中性洗剤をつけて洗い、きれいに洗い流してください。

3 本体は水で濡らして固くしぼった柔らかい布で拭いてください。洗剤や研磨剤は使用しないください、キズをつけることがあります。

4 ご使用しないときは、給湯口からフィルターホルダーを取り外してください。

■お手入れの方法

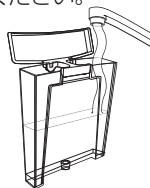
●カルキの除去

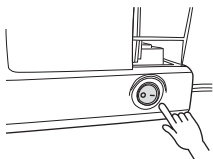
本体内にミネラル分が蓄積すると、本体の性能に悪影響が出ることがあります。以下の症状で出たら、カルキの除去を行ってください。

- エスプレッソのドリップの時間が長くかかるようになった場合。
- 蒸気の出方が大きくなった場合。
- 給湯口の表面に白いカルキあとができたとき。
  カルキ除去の目安：３～６か月に１回程度

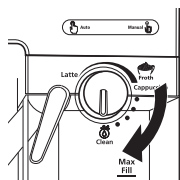
・カルキ除去方法

1 スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 給水タンクに半分ほど水を入れ、大さじ３杯の酢を加えてください。

3 給湯口にフィルターホルダーを取り付け、ドリップトレーの上に大きめのカップを置いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを ON（－）にしてください。

5 ３つのランプの点滅が点灯に変わったら、エスプレッソボタンを３秒間押してください。酢の成分が本体を洗浄し、自動的に停止します。給水タンクの水がなくなるまで、繰り返してください。

6 給水タンクの水がなくなったら、給水タンクを洗い、今度は水だけで、５の操作をしてください。
※酢の臭いがなくなるまで、この操作を繰り返してください。

7 フロッサー調整ダイヤルをクリーン Clean の位置に合わせ、ラテ / クリーンボタンを３秒間押して、クリーンサイクルを起動させてください。ミルクチューブから 30 秒間蒸気が出て、自動的に終了します。終了後、カップの中のお湯を捨ててください。

■故障かな？と思ったら

本体に異常がある場合は、下記をチェックしてください。それでも改善されない場合は、■保証書とアフターサービスについてを参照の上、修理をご依頼ください。

症　状	推定原因	対処方法
コーヒーが出てこない。	給水タンクに水が入っていない。	給水タンクに水を入れてください。
	コーヒーの粉が細かすぎる。	お使いのコーヒーミルの設定を少し粗めにしてください。
	フィルターにコーヒーを入れすぎている。	フィルターに入れるコーヒーの量を少なくしてください。
	コーヒーの粉を強く押し付けすぎている。	コーヒーの粉を一度フィルターから取り出し、再度充填してください。その際あまり強く押し付けすぎないでください。
フィルターホルダーの端からコーヒーが出てくる。	フィルターホルダーが正しくロックされていない。	フィルターホルダーを右に回してロック位置まで回してください。
	フィルターホルダーからコーヒーの粉がはみ出ている。	フィルターホルダーからはみ出したコーヒーを拭き取り、給湯口に付着しているコーヒーの粉を拭き取ってください。
	フィルターにコーヒーを入れすぎている。	フィルターに入れるコーヒーの量を少なくしてください。
ミルクが泡立たない、ミルクがミルクチューブから出てこない。	蒸気が切れている。	給水タンクに水が十分に入っているか確認してください。
	ミルクが冷たくない。	ミルクポットに冷たい牛乳を入れてください。
	ミルクチューブが詰っている。	お手入れの方法を参照の上、ミルクポットとミルクチューブをお手入れしてください。
コーヒーが早く出すぎる。	コーヒーの粉が粗すぎる。	コーヒーの粉を細かくしてください。
	フィルターに十分な量のコーヒーが入っていない。	コーヒーの量を増やしてください。
コーヒーが薄い。	エスプレッソのダブルショットのコーヒーに対してシングル用のフィルターを使用している。	エスプレッソのダブルショット用のフィルターを使用してください。
	コーヒーの粉が粗すぎる。	コーヒーの粉を細かくしてください。
エスプレッソのランプは点灯または点滅しているが、カプチーノとラテのランプが点灯または点滅していない。	ミルクポットが正しくセットされていない。	ミルクポットをしっかりと奥まで押し込んでください。
3つのランプが交互に点滅している。	給水タンクに水が入っていない。	給水タンクに水を入れてください。
フロッサー調整ダイヤルをLatteの位置にしてもフォームミルクが出来る。	フロッサー調整ダイヤルをLatteの位置にしてもフォームミルクが多少含まれます。	

■保証書・アフターサービスについて

○この商品には保証書を添付しております。
　保証書は本取扱説明書19ページにございます。
○保証書はお買上げの販売店で発行しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認ください。
○この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
○保証期間はお買上げ日より１年間です。
　保証期間中の修理でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
○保証期間経過後の修理については有料修理となります。
　保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
○修理品に関する問い合わせ：
　日本ゼネラル・アプライアンス（株）技術部　TEL（03）5643-1331（代）
○修理品の送り先：
　〒210-0869　神奈川県川崎市川崎区東扇島22-4
　東洋運輸倉庫（株）JGA修理センター宛
　TEL（044）281-2171
　（こちらでは修理品に関するお問い合わせには対応できません。）
　故障内容を明記の上、お送りください。
　保証中の場合は、保証書（またはコピー）もしくは購入日を確認できるものを添付してください。
○補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
　注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■製品仕様

製品名	電気コーヒー沸かし器
型　式	BVMCEM6601J
定格電圧・定格周波数	交流100V・50/60Hz
定格消費電力	1055W
外形寸法（コードガード除く）	幅228 × 奥行320 × 高さ265mm
重　量	4.7kg
材　質	本体：PC樹脂
	ミルクポット：ABS樹脂
	給水タンク：AS樹脂
温度過昇防止装置	温度ヒューズ　216℃
付属品	フィルター3種類

MR.COFFEE カフェ・プリマ保証書

型　　式	BVMCEM6601J		持込修理
お買い上げ日	年　　月　　日		
保証期間	（お買い上げ日より）	本体　1年	
お客様 ご住所 （フリガナ） お名前	□□□-□□□□　TEL（　　）　— 様		
販売店　店名 住所	TEL（　　）　—		

●この保証書はお買上げの日から1年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（1）万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。

（2）無料修理をお受けになる際は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にご依頼ください。

（3）遠方、離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係わる経費は実費を頂きます。

（4）次の様な場合には、保証期間中であっても、有料修理となります。

（イ）誤った使用方法あるいは取扱上の不注意による故障や損傷。

（ロ）不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。

（ハ）お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。

（ニ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。

（ホ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載）に使用した場合の故障や損傷。

（ヘ）本書の提示がない場合。

（ト）お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。

（5）本書は日本国内においてのみ有効です。This Warranty is valid in Japan.

（6）修理内容の記載欄は、修理伝票等の発行をもって代替させて頂きます。

（7）お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビルディング9F

TEL(03)5643-1331(代)　FAX(03)5643-1335